



最新の医療 温かい看護 快適な環境 医療は患者の皆さんのために

# 川崎医科大学附属病院NEWS

2018年5月 vol.175



## ・医師の動き

<採用> H29.5.1付

・吉岡 大介 (よしおか だいすけ) 呼吸器内科 医長

## ・腎臓内科からのご案内

### 常染色体優性多発性囊胞腎：PKD専門外来 診療窓口開設のご案内

常染色体優性多発性囊胞腎（ADPKD）診療において、これまで有効な治療法が確立されていませんでしたが、平成26年にADPKDに対するトルバブタン（サムスカ®）による治療介入が可能となり、腎囊胞容積増大の抑制と腎予後改善の可能性に大きな期待が寄せられています。

ADPKDは遺伝性疾患であるが故に患者さんの疑問や不安も多く、十分に医学的・社会的情報の提供を行った上で、患者さんと共に治療方針を決定していくことが重要です。またトルバブタンの初回治療導入は入院下で行うよう定められており、治療開始後も適切な水分摂取指導や定期的な血液検査等によるモニタリング実施が必要です。

トルバブタンは薬価が高額ですが、難病指定医による診断と申請手続を行い、国からの難病医療費助成を受けることが可能です。

このように現在のADPKD診療には高い専門性が求められており、当科への紹介患者さんも増加しております。そこで、2018年4月から毎週金曜日午後にPKD専門外来を開設することいたしました。（患者さんのご都合に合わせ、他の日時に受診していただくことも可能です。）当院で以下の項目を中心に検討し、貴院との具体的な診療連携の構築を目指してまいります。

- ・腎機能検査、腎予後予測
- ・画像検査（腎容積の確認）
- ・脳動脈瘤など他臓器合併症の検索
- ・家族歴：希望により遺伝カウンセリング（自費）
- ・治療方針決定（トルバブタン適応の判定）
- ・難病医療費助成制度の申請

先生方におかれましては、画像検査や家族歴等から疑わしいと考えられる患者さんがおられましたら、お気軽にご紹介下さいと幸いです。



腹部超音波による腎のう胞検出  
エビデンスに基づくPKD診療ガイドライン2014より

#### 川崎医科大学附属病院腎臓内科PKD専門外来（毎週金曜日13:30～16:00）

診療担当医 医長 長洲 一 (ながす はじめ)  
医師 板野 精之 (いたの せいじ)

## ・市民公開講座のご案内

川崎学園は平成30年度から倉敷市と共に、毎月1回市民公開講座を開催しています。医療関係の皆さんも是非ご参加ください。

### 第2回 川崎学園市民公開講座 のお知らせ

日 時：平成30年 5月 19日 (土) 14:00～16:00

会 場：くらしき健康福祉プラザ（5階プラザホール）倉敷市笠沖180

テマ：「健康寿命－100歳まで介護されない健康ながらだー」

座 長：川崎医療福祉大学 学長 植原 彰夫

講演① 健康寿命を知っていますか？

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学科 講師 大坂 裕

② 簡単につくる、美味しい食べる

川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 教授 武政 瞳子

③ «笑顔・運動»長寿健康の道しるべ

川崎医療福祉大学 健康体育学科 准教授 西本 哲也

④ 地域で元気に生きるために

川崎医療福祉大学 医療福祉学科 准教授 竹中 麻由美

